

事例紹介:さまざまな問題解決のために



● 3Rに関する住民説明会(マレーシア)



【開発調査】

固形廃棄物減量化計画調査 (2004年7月～2006年8月)

リサイクル活動の現状調査、リサイクル振興マスタープランの策定、住民参加によるリサイクル促進運動を目的としたパイロットプロジェクトの実施、リサイクル活動への住民参加の促進に係るアクションプランの策定を通じて、中央省庁、地方自治体、住民組織においてリサイクル活動振興に係る人材が育成され、一般廃棄物発生量の削減を図ります。



● 設立されたリサイクルセンター(フィリピン)



【開発調査】

リサイクル産業振興計画調査 (2006年7月～2008年2月)

リサイクル産業の振興を図るための基本計画及びアクションプランの策定を支援し、メトロ・マニラ及びメトロ・セブを対象としてパイロットプロジェクトを実施し、計画の実施可能性を検討します。これらの実施プロセスを通じて、リサイクル産業振興の担い手となる貿易産業省投資庁(DTI-BOI)のキャンペーン・ディベロップメントを図ります。



● エコラベル(インドネシア)



【技術協力プロジェクト】

エコラベル・キャパシティビルディング (2005年7月～2007年12月予定)

エコラベル製品の市場への普及は、環境への負荷が少ない製品を市場に広く普及させるものであり、循環型社会・省エネルギー社会を実現していくために極めて有効な政策であるため、キャパシティビルディングを通じて政府によるエコラベル製品普及促進、国際的に整合したエコラベル基準、認証手続きなどの実施能力の強化を図ります。



● 資源選別施設における手作業による分別作業
(メキシコ)



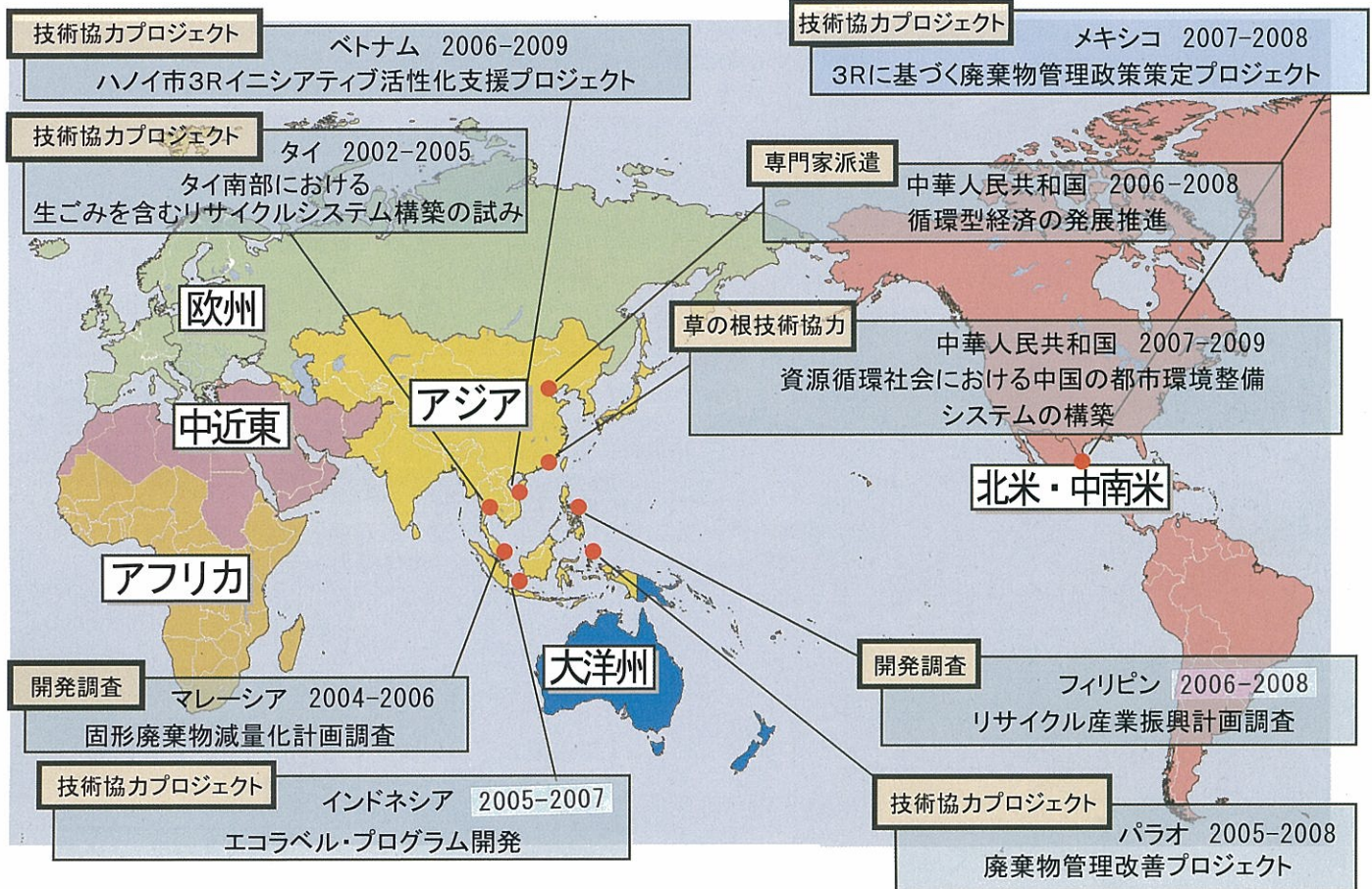
【技術協力プロジェクト】

3Rに基づく廃棄物管理政策策定プロジェクト (2007年5月～2008年11月)

メキシコでは、経済発展に伴い増加する廃棄物処理問題が顕在化しています。3Rに関する日本の法制度や経験等を通して、メキシコが取り組むべき課題や解決の方向性を明らかにしつつ、関係者の能力の向上を図り、3Rの観点を取り入れた廃棄物管理に関する国家プログラムの策定支援を実施します。

JICAにおける3R関連分野の実績

3R関連分野におけるJICAの支援実績



3R分野の協力におけるキャパシティ・ディベロップメントの取り組み

JICAの技術協力においては、キャパシティ・ディベロップメント(CD)の考え方を重視しています。CDとは、「途上国の課題対処能力が、個人、組織、社会などの複数のレベルの総体として向上していくプロセス」と定義されています。

3Rの問題は、分野横断的で、経済と社会のあり方と深く関わった長期的性格を有する課題です。このため、本分野の協力においては、特定個人や組織のみならず、制度や社会を念頭に置いた計画と実施が必要となります。

具体的には、中央政府、地方自治体、市民、企業がそれぞれの課題対処能力の向上やパートナーシップ強化を促進する制度構築支援等が求められています。